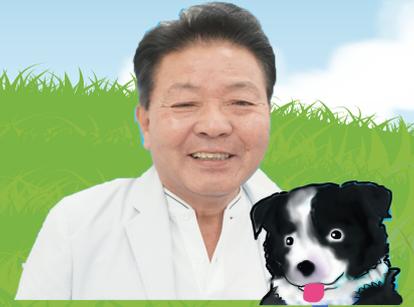


理事長語録 8

講演会などでは聞けない理事長のお話
もったいないので書きちゃいます。



in shibushi 2019

「いい習慣はいい性格を作る」

～朝早く起きて、しっかりご飯を食べ、夜早く寝る。といったいい習慣がいい性格をつくるのです。

お手伝いをするということは、家族を助けること。この習慣もいい性格を作る大切なことなのです。

昔はね男は外で仕事をし、女は家を守る。これが当たり前だった。しかし現代では、夫婦共働きが当たり前になっています。女は仕事、子育て、家事と忙しく余裕がなくなってしまう。

家の中は散らかり、手抜きのご飯、子どもとの時間が無くなりコミュニケーション不足。

そうならないためにも家族全員で協力することが大切なのです。

そこで子どものお手伝いが重要になってきます。

自分の事は自分でするのは当たり前です。家族を助けることができる子どもを育てるにはどうしたらいいか。

小さいうちから習慣づける。2、3歳でもお手伝いはできます。

靴を並べる・食事前の食卓の準備・洗濯物を片付けるなど、もちろん一人では難しいです、ですのでこの時期は一緒に教えながら、見守りながら、褒めながらやります。

無理をさせなくていいんです。できることを少しでもいいから毎日することがいい習慣に繋がるのです。

小学生になれば、算数の勉強になるお手伝いがあります。

洗濯機のタイマーです。

お風呂の後に「ここに洗剤入れて、柔軟剤はここ」など子どもは喜んでしてくれます。

そしてここからです。「今から予約して明日の朝6時できるようにセットして」などお願いしてみてください。時計を見ながら1・2・3と指を折ったり、何度も時計と洗濯機を往復したり一生懸命してくれることでしょう。

そうしてる間にいつの間にか時計をスムーズに読めるようになったりします。

一緒にご飯を作る時も算数や理科や社会のお勉強です。

ジャガイモを切るのに、「1人3こ食べることにしよう。うちは4人家族だから、この2個のジャガイモを何個ずつに切れば3個ずつ食べられる？」など。

野菜や果物の生産量ランキングを調べてみたり、旬や種類など親子で調べてみるなど楽しみながらお手伝いも勉強もできる方法は探せばいくらでもあります。ただ余裕がないと、わかっていてもできないのが現状です。

毎日同じことさせる必要はありません。何でもいいから毎日することがいい習慣になるんです。

こうして家族で協力することによって、母は余裕が出てきます。

その余裕は子どもとの時間が増やし、おいしいご飯を一品増やし、きれいな空間を増やし

何より笑顔が増えるでしょう。

この笑顔も子どものいい性格を作る大切な要因なのです。